

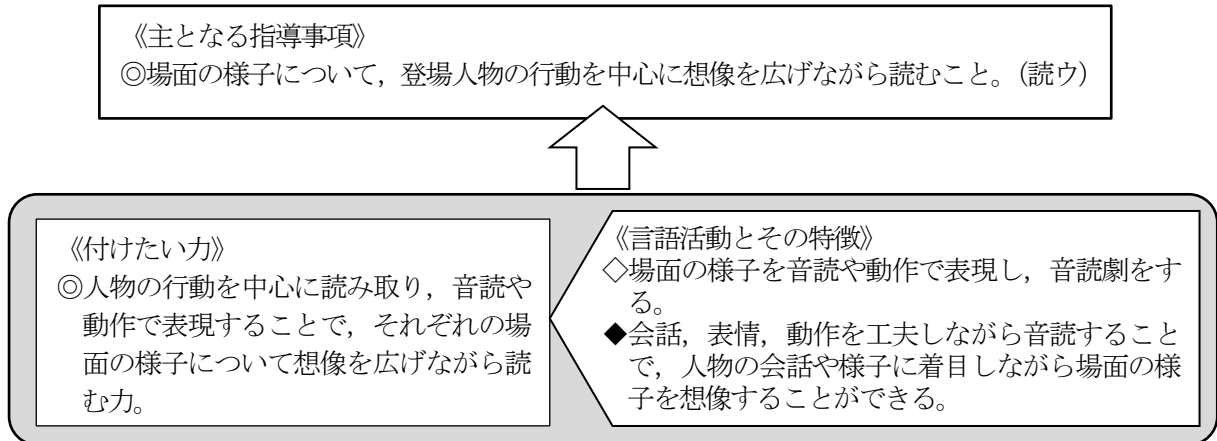
## 第2学年国語科学習指導案

日時 平成28年9月28日(火)

児童 2年 男9名 女13名 計22名

- 1 単元名 ものがたりを読んで、お気に入りの場めんの音読げきをしよう  
中心学習材 「名前を見てちょうだい」(東京書籍 2年 下)  
補助学習材 おふるだいすき、天の火をぬすんだうさぎ、がちょうのペチューニア

### 2 付けたい力と言語活動



### 3 単元について

#### (1) 児童について

「読むこと」ウの学習として、2年生上「お手紙」では、物語がいくつかの場面からできていることを理解し、場面ごとに人物がしたことを確かめながら読む学習をした。叙述や挿絵を手掛かりにして、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像して吹き出しに書く中で、児童は人物の行動や会話を基に、場面ごとの人物の様子を読み取れるようになってきた。しかし、様子を表す言葉を見付けたり、どんな様子なのかを想像したり、それを表現したりする力はまだ不十分である。また、人物の様子を想像する際に、文章で叙述されていることからかけ離れてしまう児童もいる。さらに、様子を声や動作で表現するのも、恥ずかしさがあり十分にできていない児童が多い。

そこで、本単元「名前を見てちょうだい」では、物語の展開に即して場面を分け、人物の行動や様子を豊かに想像しながら読み取る能力を育てることをねらいとしており、音読や動作で表現するという言語活動を通して、より豊かに人物の行動や様子を詳しく想像したり、楽しく登場人物になりきって表現したりさせたい。

#### (2) 学習材について

第2学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元は学習指導要領「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」に重点を置き、指導しようとするものである。中心学習材「名前を見てちょうだい」は、主人公えっちゃんが、母に自分の名前を刺繍してもらった帽子が風で飛んでいくことがきっかけで、帽子を求めてきつねや牛、大男と出会う、冒険するファンタジーである。場所の変化と、えっちゃんが新たに出会う人物に着目することにより、場面の移り変わりを把握しやすい構成になっている。新たな人物が登場するたびに、えっちゃんと人物とのやり取りが繰り返されるため、児童は展開を楽しみながら場面の様子について豊かに想像を広げて読むことができるだろう。また、人物の動きや表情も多様で会話文も多いため、役割を分けて読んだり劇化したりするのに適した学習材であるといえる。

### (3) 指導について

本単元では、会話文や様子を表す言葉に着目して、場面の様子や人物の気持ちを想像して読み、音読劇をする言語活動を通して、人物の言動を中心に、場面の様子について想像を広げて読むことをねらいとしている。工夫して読みたいところを「なりきりポイント」として主体的に見つけさせたり、読み方や理由を話し合わせたりすることで、叙述を基に、場面の様子や登場人物の気持ちに迫らせた。

第一次では、初発の感想や1年生の時の学習発表会の映像を基に、「物語を読んで、お気に入りの場面の音読げきをしよう」と、音読劇をする学習のゴールを提示し、作品を読み進めるための意欲付けをする。

第二次では、第2時で、場所や登場人物の行動の変化、挿絵を基に、自分で場面を六つに分ける。第3時～第9時では、文章中に書かれている言葉を基に「不思議そうに」「困ったように」「あわてたように」「いじわるそうに」など、児童の知識や経験を想起させながら、会話文を中心に様子にあった読み方を考えさせる。読み方を工夫する際は、登場人物の様子とその理由をペアや全体で話し合うことで、叙述を基に場面の様子についての想像を広げたり深めさせたりさせたい。また、繰り返し動作化をしていくことで、児童の経験に結び付けながら、場面や人物の様子や変化を読み取らせていきたい。

第三次では、「名前を見てちょうだい」と同様に次々に人物が登場する3冊の本の中から自分が音読劇をしてみたいものを選び、グループで練習、発表をして、よりじっくり物語を読んだり場面の様子を想像したりする機会にする。本単元の発展として、「泣いた赤鬼」を場面の様子を考えて読み、これまで学習したことを生かして、学習発表会で発表する。

#### 〈中心学習材と言語活動〉

4月 「風の ゆうびんやさん」 人物の行動や会話 に着目し、言葉のま とまりに気を付けて 声を出して読む。 (音読発表会)	6月 「お手紙」  場面ごとに二人の 行動や様子から気持 ちを想像し、オリジ ナル絵本を作る。 (オリジナル絵本)	9月(本単元) 「名前を 見てちょうだい」 それぞれの場面の 人物の様子を想像 し、声や動きで表す。 (音読劇)	12月 「かさこじぞう」  むかし話を読み、 おもしろいところを見 つけ、昔話紹介カー ドを作る。 (紹介カード)	2月 「ニャーゴ」  それぞれの場面の 様子を想像し、紙芝 居で発表する。 (紙芝居)
--	--	--	--	---

## 4 単元の指導目標と評価規準、指導計画

### (1) 単元の指導目標

○人物の様子を音読や動作で表現することに興味を持ち、物語を読もうとしている。

【関心・意欲・態度】

◎場面の様子について、人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。

【読むことウ】

○文章の中の言葉を基に、思い浮かべた人物の様子を音読や動作で表現することができる。

【読むことオ】

○「誰が」「どうした」に気を付けて、文章を読むことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(カ)】

### (2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○音読する楽しさを知り、人物や場面の様子を読み取って想像することに興味を持ち、音読劇で自分の思いを表現しようとしている。	◎登場人物同士の帽子をめぐるやり取りの様子を、人物の行動に着目して想像を広げながら読んでいる。(Cウ)	○文の中における主語と述語との関係に注意して文や文章を読んでいる。(伝国(1)イ(カ))

(3) 単元指導計画 (全14時間)

	【主な学習活動】	【評 価】
<p>第一次 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>第二次 物語を六つの場面に分け、えっちゃんや他の人物の様子を思い浮かべながら読む。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>第三次 自分が選んだ物語の音読劇の練習をする。</p>	<p>① 教材文を通読し、初発の感想を交流する。学習を生かして学習発表会で発表することを知り、単元の見通しを持つ。</p> <p>② 内容の大体の構成をつかみ、場面を六つに分け、おおまかなあらすじをおさえる。</p> <p>③ お母さんからもらった帽子が、風にさらわれる場面(一、二の場面)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、えっちゃんの様子を想像する。</p> <p>④ 野原でえっちゃんがきつねと出会う場面(三の場面)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、えっちゃんの様子を想像する。</p> <p>⑤ こがね色の畑でえっちゃんときつねが牛に出会う場面(四の場面)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、えっちゃんの様子を想像する。</p> <p>⑥ 七色の林でえっちゃんときつねと牛が大男と出会う場面(五の場面前半・後半)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、えっちゃんの様子を想像する。</p> <p>⑦ えっちゃんが大男に立ち向かう場面(五の場面の山場)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、えっちゃんの様子を想像する。(本時)</p> <p>⑧ 帽子が戻ってきてえっちゃんが遊びに出かける場面(六の場面)を読み、会話文や様子を表す言葉の音読の工夫について話し合い、全文を振り返りながら工夫して音読をする。</p> <p>⑨ 好きな場面の音読劇の練習をする。 ⑩ 好きな場面を選び、音読劇をする。</p>	<p>① 興味をもって教材文を読んで感想を発表し合い、音読劇に興味・関心をもっている。 (行動観察・発言・ノート)</p> <p>② 六つの場面ごとに、出てきた人物を確かめ、物語で起きた出来事のおおまかな流れをとらえている。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>③ 帽子の様子やえっちゃんの行動や様子が表れている言葉を見つけ、様子を想像しながら読んでいる。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>④ きつねの行動や様子が表れている言葉を見つけ、えっちゃんの様子を想像しながら読んでいる。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>⑤ 牛の行動や様子が表れている言葉を見つけ、えっちゃんときつねの様子を想像しながら読んでいる。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>⑥ 大男の行動や様子が表れている言葉を見つけ、きつねと牛の様子を想像しながら読んでいる。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>⑦ えっちゃんの行動に気を付けて読み、様子を想像している。 (Cウ) (シート・発言)</p> <p>⑧ 全体を振り返って、工夫して音読している。 (Cオ) (シート・音読・観察)</p> <p>⑨ 音読劇に興味・関心を持ち、様子を想像しながら音読劇の練習をしている。 (Cオ) (ノート・音読劇)</p> <p>⑩ 音読劇に興味・関心を持ち、様子を想像しながら音読劇をしている。 (Cオ) (ノート・音読劇)</p>
	<p>⑪⑫ 同じ物語を選んだ人でグループを作り、役割分担をして、場面を工夫して読む練習をする。</p> <p>⑬ 自分が選んだ物語で音読劇をする。</p> <p>⑭ 単元を振り返り、さらに工夫したいことを考える。</p>	<p>⑪⑫ 物語のおもしろさを伝えようと、音読劇で自分の思いを表現しようとしている。 (Cオ) (ノート・音読劇の練習の様子)</p> <p>⑬ 友達の音読劇を聞いて、様子や気持ちがわかる読み方に気付いている。 (Cウ) (ノート・音読劇の様子)</p> <p>⑭ 学習したことを振り返り、次の学習への意欲を高めている。 (Cウ) (行動観察・ノート・発言)</p>

並  
行  
読  
書

## 5 本時の指導

### (1) 目標

えっちゃんの行動に気を付けて読み、場面の様子を想像を広げながら読むことができる。

### (2) 展開

段階	学 習 活 動	指導の要点・評価
		○指導の要点 ・指導の留意点 ※評価箇所
導入 3分	1 本時の場面を音読する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">えっちゃん和大男はどんなようすかな。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話の順序から、本時はえっちゃんが大男に立ち向かう場面であることを確認する。</li> </ul>
展 開  35分	3 学習課題を解決する。 (1) 本時の場面の様子がわかる言葉を見付ける。  (2) 全体で場面の様子をとらえる。  (3) 自分が工夫して読みたい文や言葉を「なりきりポイント」として選び、ペアでえっちゃんや大男の様子を想像したり、動作をつけたりして音読する。  (4) 全体で「なりきりポイント」を交流する。  (5) シートに、自分が選んだ「なりきりポイント」を書き、えっちゃんや大男の様子と理由を書く。  (6) なりきりポイントがわかるように動作をつけて2人一組で音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○えっちゃん和大男の様子がわかる文や言葉をペアで話し合ってもよいことにする。</li> <li>・「きりり」「もうもう」「ぐわあん」「たたみのような」「ぶるっと」など、様子を表す言葉はどんな感じなのか、動作も交えて様子を想像する手立てとしたい。</li> <li>○工夫して読みたい文を、えっちゃんや大男はどんな様子なのか、想像しながら読んだり動作をつけたりする。</li> <li>・えっちゃんや大男はどんな様子なのか、ペアや全体で理由を交流し、より想像を深められるように、発言をつなげる。</li> <li>※評価規準 <b>B</b>              えっちゃんの行動に気を付けて読み、大男の前に堂々と立っているえっちゃんの様子を想像している。              (Cウ) (ワークシート・発言)</li> <li>・地の文とえっちゃんに役割分担をして、交代しながら動作と音読で表現する。</li> </ul>
終 末 7分	4 本時の学習を振り返る。 5 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を通して、分かったことや工夫できてよかったことを書く。</li> </ul>

(3) 板書計画

